

一期一絵・・・

# SILKLAND

gallery news & communication

No.91

ギャラリー通信

Apr. 2016

<http://www.silkland.co.jp>



MITSUO NAKATSUKASA



中司 満夫《アルプの城》(アヌシー) M20

～光の揺らぎと古典への憧憬～ 2016年 4/3 (日) - 16 (土)  
中司 満夫・奥江 一太 二人展 ※最終日は午後5時閉廊



## ごあいさつ

写実的な風景描写と静物画を得意な作風とする二人の競演。毎年訪れるフランスやスペインの美しい村々の情景がノスタルジックな旅情を観る者に喚起させ、緻密ながらも量感あるタッチで人気を集める中司満夫、みずみずしい穫れたての果物やその室内の空間に満ちる光と影を確かな筆致で描き出す奥江一太。同じ年に生まれ、共に京都市立芸大で学び、独自のリアリズムを追求する二人の油彩作品、約30点をどうぞご堪能ください。

2016年3月

シルクランド画廊



《運河の村の午後》F4



《星夜・カルカゾンヌ》F3



1966年山口県防府市に生まれる / 1989年京都市立芸術大学美術学部卒業 / 1997年辻真砂に師事 / 1999年スペイン・ポルトガルに取材旅行。以降2006年まで毎年スペイン・ポルトガル取材に出かける / 阪急うめだ本店にて個展。以降毎年個展開催 / 2007年フランスに取材旅行。以降毎年フランス取材に出かける / 個展(日本橋三越本店)以降隔年個展開催 / 2013年京宵展出品(京都美術倶楽部)以降毎年出品 / 全国各地百貨店にて個展開催 / 現在 無所属

# 中司 満夫

## Mitsuo Nakatsukasa



《潮風ブルーターニュ》M10

フランス各地方の美しい村を訪ねて今年で10年目になります。パリ乗り継ぎでリヨンやボルドー、ストラスブールなどの地方空港に降り立ち、そこから美しい村を見つけては宿を探すというお気楽・気まぐれドライブ旅行を続けています。昨年はモンペリエから地中海沿いの村々を巡り、世界遺産のミディ運河、内陸部のアヴェロンを訪ねました。中世の風情が色濃く残るフランスの田舎の風景をお楽しみください。

中司 満夫

静物と花を中心に制作しています。

花は京都に咲く椿や木蓮、薔薇などを取材し装飾性のある背景と共に構成的な配置を愉しみながら描いています。

静物画においても背景の技法・色では写実画の枠に囚われない表現を試みています。

日常見かける「もの」の内に潜む美しさと儚さに心奪われる一瞬を絵画という平面空間に留める作業なのですが、単なる写実的再現に終わらず抽象的な美的要素とともに物体から生じるリリカルな心象を表現できるよう心がけています。

奥江 一太



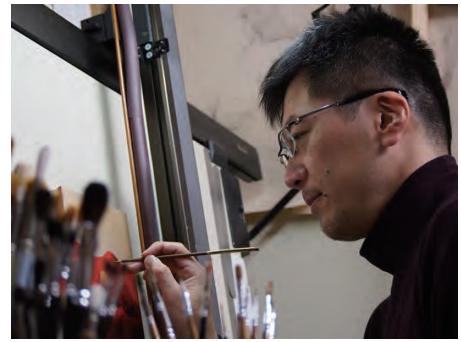
《葡萄とプラム》P6



《胡蝶蘭と葡萄》M10



《苺のある静物》F15



1966年 大阪府生まれ / 1991年 京都市立芸術大学美術学部卒業 / 2000年～2003年 新鋭作家展、三人展、グループ展 (ギャラリー大井、美術サロンゆたか、オンワードギャラリー、近鉄百貨店、そごう百貨店、その他多数) / 2004年以降、各地百貨店、画廊にて個展、グループ展開催。(奈良近鉄百貨店、阪神百貨店、天満屋、京阪百貨店、他) / 現在 無所属

# 奥江 一太

## Kazutaka Okue

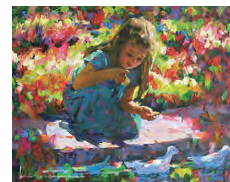
Information  
展覧会情報



香炉・マグカップ・箸置き  
(京焼き)

4/17 - 24  
武内 裕 作陶展

武内裕、シルクランド画廊での第8回目の作陶展。京焼の作品など多数展示いたします。



ホンビン・ツォー「彩の歌声」P10

4/25 - 30  
常設展

シルクランド画廊が取り扱う精鋭作家の作品を紹介いたします。





奥江 一太《蘭と果実》39.7×72.7cm



奥江 一太《籠の桃と果実》M20

# KAZUTAKA OKUE

シルクランド画廊 開廊時間：11:00→19:30(土・日・祝日は18:30まで)

〒104-0061 東京都中央区銀座6-5-11 第15丸源ビル1階

Tel 03-5568-4356 Fax 03-5568-4357

http://www.silkland.co.jp e-mail gallery@silkland.co.jp

アクセス ■ 地下鉄丸の内線、銀座線、日比谷線「銀座駅」B7,B9,C2出口 徒歩2分 ■ JR「新橋駅」銀座出口 徒歩6分

